

NEWS RELEASE

急拡大するアジア EC 市場に対して、 決済サービスだけでなく、資金面でも成長とエコシステム構築を支援する 「econtext ASIA EC Fund」を設立

デジタルガレージグループでオンライン決済事業を担う econtext Asia Limited (HKEx: 1390 本社: 香港、Chairman 林郁/CEO 沖田 貴史、以下: econtext ASIA) は、子会社であるベリトランス株式会社(本社: 東京都渋谷区、代表取締役: 沖田 貴史、以下: ベリトランス)を通じ、急拡大を遂げているアジアでの EC 市場に対して、決済サービスだけでなく資金面からも支援する「econtext ASIA EC Fund 投資事業有限責任組合」(以下: econtext ASIA EC Fund)を設立しました。

econtext ASIA グループは、日本を含むアジア地域において、各市場での EC の黎明期から、安心・安全な決済サービスを提供することで EC 市場の拡大に貢献してまいりました。近年では、今後さらなる成長の見込まれるアジア市場において、主に現地企業を対象とした高品質な決済サービスの提供を順次開始しておりますが、この度、econtext ASIA EC Fund を設立することで、急拡大を遂げているアジア市場に対して、決済サービスだけでなく成長資金を提供する体制を構築し、アジア各国において決済サービスを基盤とする EC エコシステムの発展を支援し、さらなる事業拡大を見込みます。

econtext ASIA EC Fund は、インドネシアの大手 EC マーケットプレイス「PT. Tokopedia」の株式取得等、アジア EC 企業への投資に加え、アジア展開を検討する日本の EC 企業 及び日本を含むアジア展開を目論む北米・欧州企業への投資、ジョイントベンチャーの設立などを通じ、拡大が見込まれるアジア EC 市場の成長を多次元で享受することを目的としています。また、アジア現地の EC 企業と日本の投資家、ネット企業との交流を図ることで、シナジー効果を高め、アジア企業の成長とともに、日本企業のアジア展開を支援してまいります。

econtext ASIA グループは、今後もアジアでの EC 決済業界のパイオニアとして EC 業界の発展に貢献してまいります。

【econtext ASIA EC Fund 概要】

名称: econtext ASIA EC Fund 投資事業有限責任組合
設立日: 2014年3月28日
運用期間: 2020年12月31日までの6年9か月(但し、最大2年の延長可能性)
募集期間: 2014年12月31日まで(追加募集期間)
出資総額: 50億円(上限)

【econtext Asia Limited について】 <http://www.econtext.asia/>

デジタルガレージグループの決済事業を統括するヘッドクォーター機能を担う中間持株会社。2012年9月に香港で設立し、2013年12月香港証券取引所に上場(HKEx: 1390)。日本最大規模のクレジットカード決済プロバイダーであるベリトランス、同じく日本最大規模のコンビニ等現金決済プロバイダーであるイーコンテクストを傘下に持つ。また、EC 決済及び EC インフラ事業の提供を目的に、上海に現地大手決済会社との合弁会社「VeriTrans Shanghai」、インドネシアに現地大手財閥などとの合弁会社「MidTrans」を有し、インドにおけるオンライン決済大手の Citrus 社に出資するなど、アジア全域での EC 決済プラットフォームの構築を目指し事業を拡大している。